



2026.2.20

桜のつぼみ

令和8年2月26日（木）発行 2月号 題字 校長（やちほあい）

八千浦愛の継承

校 長

2月10日（火）の6限の時間に、体育館で「第2回生徒総会」が開催されました。令和7年度の生徒会活動を振り返り、成果と課題を明らかにして来年度のよりよい生徒会活動に結び付けることがねらいです。まず、生徒会長と総務委員から令和7年度生徒会スローガンの基になった「八千浦愛」「自己有用感」についての説明がありました。2年生から「生徒会総務が考える八千浦愛とは何ですか」という質問があり、生徒会長が「地域の良さを知り、地域を愛し、みんなで地域を盛り上げようという思いです」と答え、体育祭での地域交流や、地域の「うみまつり」でのよさこい披露など、地域と関わり、地域を盛り上げようとする生徒の活躍を説明しました。2年生からは、情報委員会についての質問も上がりました。3年生の生徒会役員や、総務委員、各委員長の落ち着いた堂々とした説明の態度、1、2年生の積極的な質問の様子から、それぞれの学年生徒がしっかりと成長している様子を感じ、とてもうれしくなりました。

今年度の生徒会は、「学年を超えて仲良くなろう」と縦割りグループでの交流活動や、他学年との交流活動に力を入れ、これまでよりもさらに学年を超えて生徒たちが仲良くなりました。これは、今年度の生徒会の力が発揮された証です。

議事の後に令和8年度の生徒会長より、令和8年度の生徒会総務委員、各委員長の委嘱がありました。各委員はやる気に満ちた表情で、決意を新たにしていました。最後に、令和7年度の委員から8年度の委員に委員会ファイルの引継ぎがありました。引き継がれた1、2年生の目の輝きがとても印象に残りました。これは、八千浦中学校生徒会の世代交代の瞬間であり、まさに「八千浦愛」継承の瞬間に立ち会った思いです。

3年生は本当によく成長してくれました。いよいよ3月6日（金）が卒業式です。3年生の最後の成長の瞬間を見るのが楽しみでなりません。目が潤んでも、最後の生徒が体育館を去るまでしっかりと顔を上げ、大きな拍手で見送ります。



全校卒業式練習開始

3月6日(金)の卒業式に向けて、2月25日(水)6限に、第1回の全校卒業式練習がありました。起立、着席の姿勢、礼の角度など基本的な所作から、登壇者のタイミングに合わせた礼、校歌、国歌の練習などを行いました。3年生はすでに学年での卒業式練習を始めていて、今回の全校練習でも態度よく、姿勢よく、1、2年生のお手本となっていました。卒業式が中学校の行事で最も重要なものと言えるのは、義務教育の過程を修了する大切な儀式であるからです。1、2年生にも卒業式の重要性を伝え、卒業式が3年生にとってよりよい門出の場となるよう生徒を支援していきます。



巡回ミニ平和展を開催

2月16日(月)～27日(金)まで、八千浦中学校3階多目的室において上越市学校巡回ミニ平和展を行いました。上越市は平成7年に「非核平和友好都市」を宣言しており、その趣旨の普及と啓発を図るために平成29年度から上越市の戦争の歴史や広島・長崎の原爆被害の写真パネルを市内の小中学校に



において展示する「巡回ミニ平和展」を行っています。2月20日(金)、2年生は社会の時間に「巡回ミニ平和展」の見学を行いました。まず、パネルから広島・長崎の原爆の状況を知りました。そして、上越市の戦争被害として、八千浦の黒井周辺に落とされたB29の爆弾被害があった直江津空襲、名立に流れ着いた機雷による終戦後の戦争被害、名立機雷事件について学びました。自分たちが住む八千浦の戦争被害、終戦から4年後に起きた上越市内の戦争被害に驚きを寄せていました。今後も平和学習を進めていきます。

修学旅行事前学習～2日目の班別研修のコース決め～

3月10日(火)から12日(木)までの3日間、2年生は大阪・京都・奈良へ修学旅行に行ってきます。今回の修学旅行の目的は①歴史的な文化財を直接見て理解する②上越の郷土学習を大阪の大学で発表し、郷土愛を深め自己有用感を高める③県外での集団行動、班別行動を通し、社会のルールを守り、仲間との理解を深めることです。

目標に向け、これまで事前学習を積み重ねてきました。2月25日(水)に修学旅行のメインイベントともいえる、2日目の班別研修のコース決めを、旅行社のアドバイスのもとに行いました。7時間の間にタクシーを利用して歴史的な文化財を効率よく見学するために、生徒たちは意欲的に話し合っていました。修学旅行の学習効果が上がり、安全に行動できるよう生徒を支援してまいります。

